

地域イノベーションクラスタープログラムの概要

イノベーションシステム整備事業

<地域イノベーションクラスタープログラム> ●平成22年度予算額 12,065 百万円

優れた研究開発ポテンシャルを有する地域の大学等を核とした産学官共同研究等を実施し、産学官の網の目のようなネットワークの構築により、イノベーションを持続的に創出するクラスターの形成を図ります。

事業概要

1. 事業実施体制

- 事業実施の司令塔となる中核機関の設置（事業総括、研究統括等の配置）
- 事業化を促進するための科学技術コーディネータの配置や弁理士等のアドバイザーの活用

2. 産学官共同研究等の実施

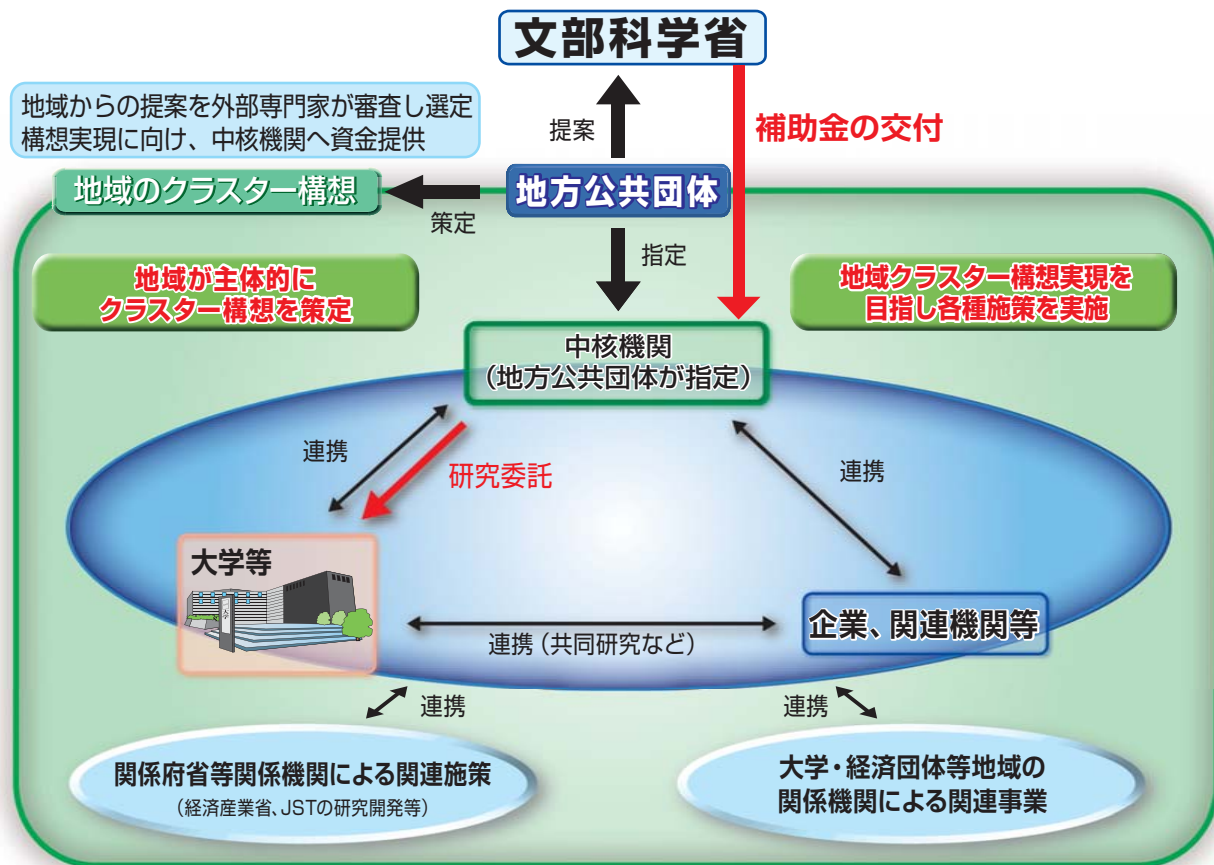
- 地域企業のニーズを踏まえた産学官共同研究の実施
- 研究成果の特許化及び事業化に向けた研究開発の実施

3. 地方公共団体や関係府省の関連施策等の活用

- 地方公共団体による独自事業や経済産業省をはじめとした関係府省の関連施策を活用し、事業化まで一貫した事業を実施

4. その他

- 研究成果の発表や事業化に向けたマッチングのためのフォーラム等の開催
- 地域の自立性をより一層高めるため、クラスター形成に向けた取組に対して、マッチングファンド方式により、クラスター関連事業を地域が実施



重点支援枠について

平成22年度は、地域イノベーションクラスタープログラム（重点支援枠）として、これまでクラスター形成に向けた取組実績がある地域を対象に、国際競争力を持ったクラスター形成を目指すグローバル型と、小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスター形成を目指す都市エリア型の選定を行いました。選定された以下の7地域に対して、地域が自立して持続的に発展できるクラスターを形成できるよう、支援します。

採択地域一覧

採択地域	概要
いわて県央・釜石地域	「いわて発」高付加価値コバルト合金による、医療機器用・一般産業用実用化基盤を構築したこれまでの取組の成果を活かし、製品化や材料の規格化へ向けた研究開発、生体用材料としてニーズの高いアジア・欧米市場へ向けた販路拡大の取組を推進し、既に当地域で企業化した合金材製造事業を核としたクラスターの形成を図ります。
ふくしま地域	これまでの研究成果である超音波を用いた硬さ測定技術（ハプティック技術）に、光技術、情報処理技術等を加えて、血糖値を始めとした生体情報を、体を傷つけずに計測する装置の開発や、触覚機能を持った内視鏡等の開発、およびその遠隔システム化に取り組み、優しさと安全性を備えた先端診断機器および治療器具の開発と事業化を目指します。
富士山麓地域	静岡県東部の富士山麓地域に健康・医療産業クラスターの構築を進める「ファルマバレープロジェクト」の主要事業として、これまでに取り組んだ先端的ながん診療技術の研究成果のうち、海外展開が見込まれる腫瘍マーカー開発等の4テーマについて製品化を進め、国内では数少ない医療機関中心型クラスターとして更なる充実を図ります。
びわこ南部地域	小型軽量化など、ものづくり技術の蓄積と、地域の大学・企業との緊密な連携の実績をもとに、「いつでも・どこでも高度先端医療」を実現する超微量分析・体腔鏡手術ロボティクス技術の研究開発を実施します。さらに「産学官金連携」によるネットワークの自立・強化により、医工連携ものづくりクラスター形成を目指します。
弘前エリア	弘前大学に蓄積された糖鎖工学の豊富な知的・人的財産及びコラーゲンやヒアルロン酸と並ぶ動物の軟骨の主成分であるプロテオグリカンの大量精製技術を活用し、機能性食品や化粧品、医薬品等の開発をターゲットに、青森県の地域特性を活かした「健康（ヘルス）・美容（ビューティー）」関連産業クラスターの形成に取り組みます。
埼玉・圏央エリア	埼玉・圏央エリアが積み上げてきた高速分子進化技術を用いて、高機能な抗体、ペプチドアプタマー、蛍光タンパク質センサーを創出し、高齢化社会における難病のための治療薬シーズ、診断・検査薬、創薬ツールに応用します。また、これらの技術をコアとし、地域のものづくりの伝統と組み合わせ、独自の次世代バイオクラスター形成を目指します。
米子・境港エリア	鳥取大学の染色体工学技術により開発したヒト人工染色体（HAC）技術に係る基盤研究の拡充、その技術を用いて作製したヒト型遺伝子モデルマウスによる生理機能等評価システムの高性能化、さらに産学官での研究連携による食品素材の機能性評価研究と商品化を目指すと共に、パイオ人材育成も行う染色体工学研究拠点を形成します。